

# フットサル施設 経営状況調査レポート

## ■調査方法

実施期間:2020年6月5日～12日

実施方法:フットサル施設担当者からのウェブアンケート  
回答形式

回答数:71施設

一般社団法人日本フットサル施設連盟

2020年6月19日



# はじめに

新型コロナウイルス感染症対策による、イベントの開催自粛や外出自粛の影響を受け、社会全体が大きな打撃を受けております。

緊急事態宣言による営業自粛対象施設に、屋外フットサル場は含まれていませんでしたが、社会的な要請もあり、営業ができない施設が多くありました。

また、営業自粛対象外であるゆえに、地方自治体の給付金などの対象から漏れるなどの事例も多くあり、経営圧迫に歯車をかけました。

飲食店などのように多くの注目が集まり、様々な支援が行われる業種がある一方、スポーツ施設への支援はなかなか届かない現状があります。

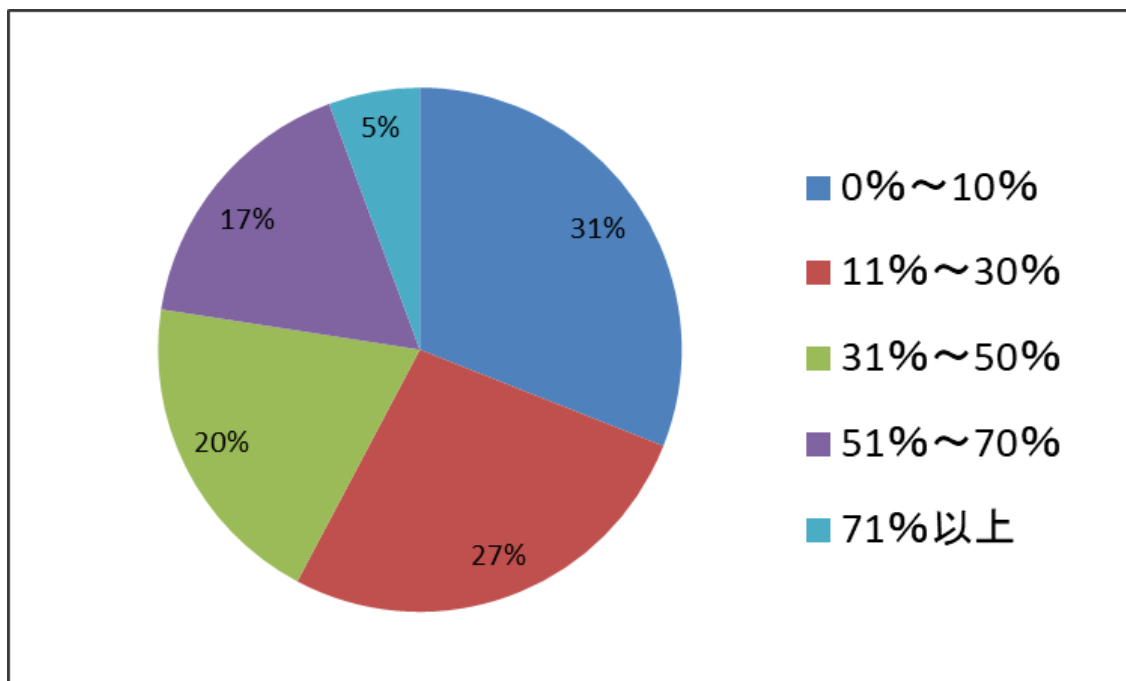
フットサル場は大人の余暇の場であるだけでなく、スクールやクラブを通じて多くの子供が通う、地域のスポーツの拠点となっております。

このような場がなくなってしまう可能性があることは、今後の社会全体の大きな損失になると考えます。

一般社団法人日本フットサル施設連盟では、現在の経営状態を明らかにし、必要に応じて支援の要請をするために全国のフットサル場に緊急のアンケートを取りました。

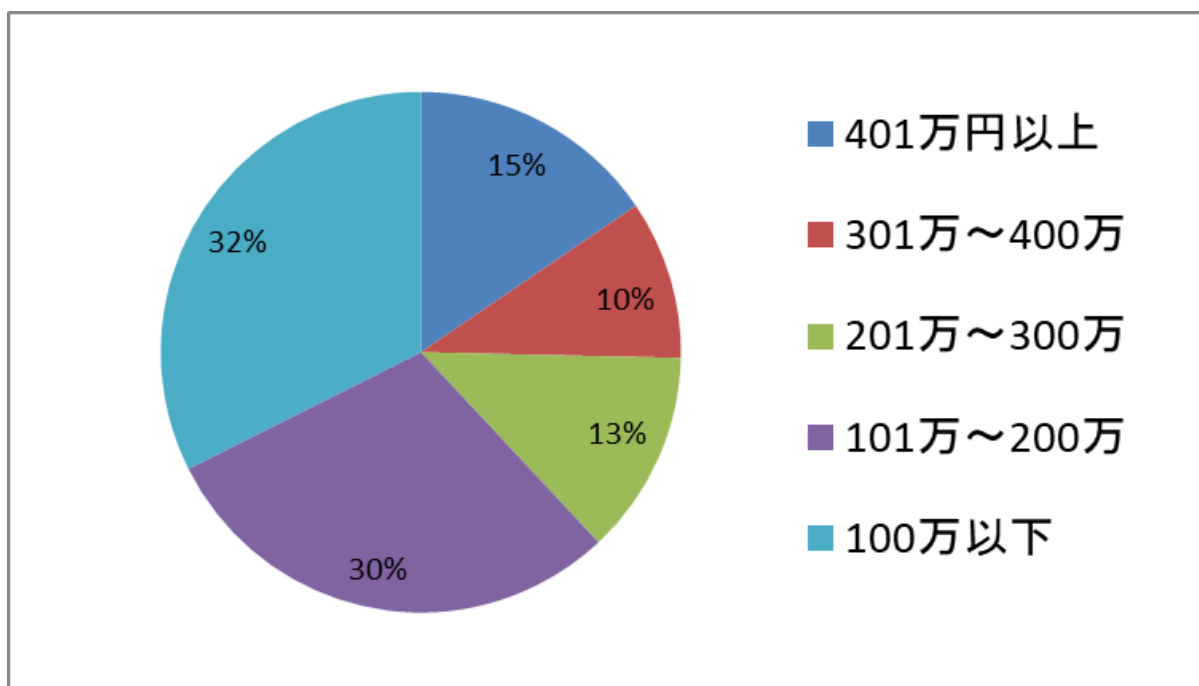
ここにその一部を公開し、多くの方にフットサル施設の現状を知っていただくきっかけになれば幸いです。

## ①2020年4月の前年同月比売上



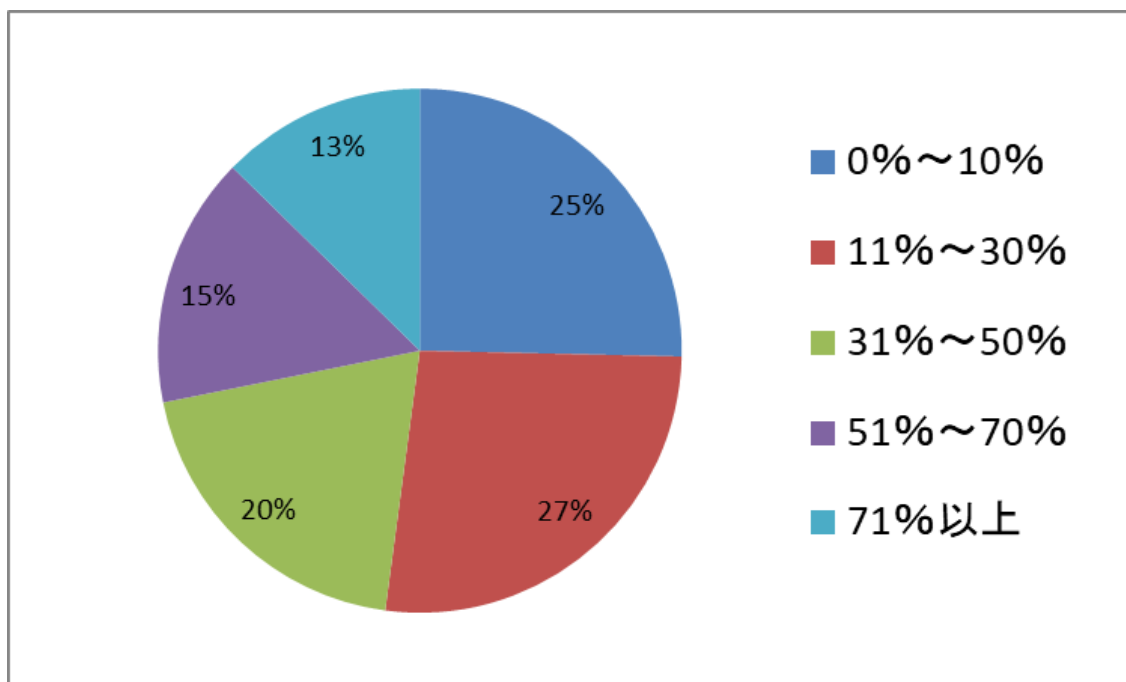
- ・前年同月比で50%以下の施設が全体の7割を占めた。
- ・前年同月比10%以下の施設も全体の3割を占める深刻な結果となった

## ②2020年4月の前年同月比の 売上減少額



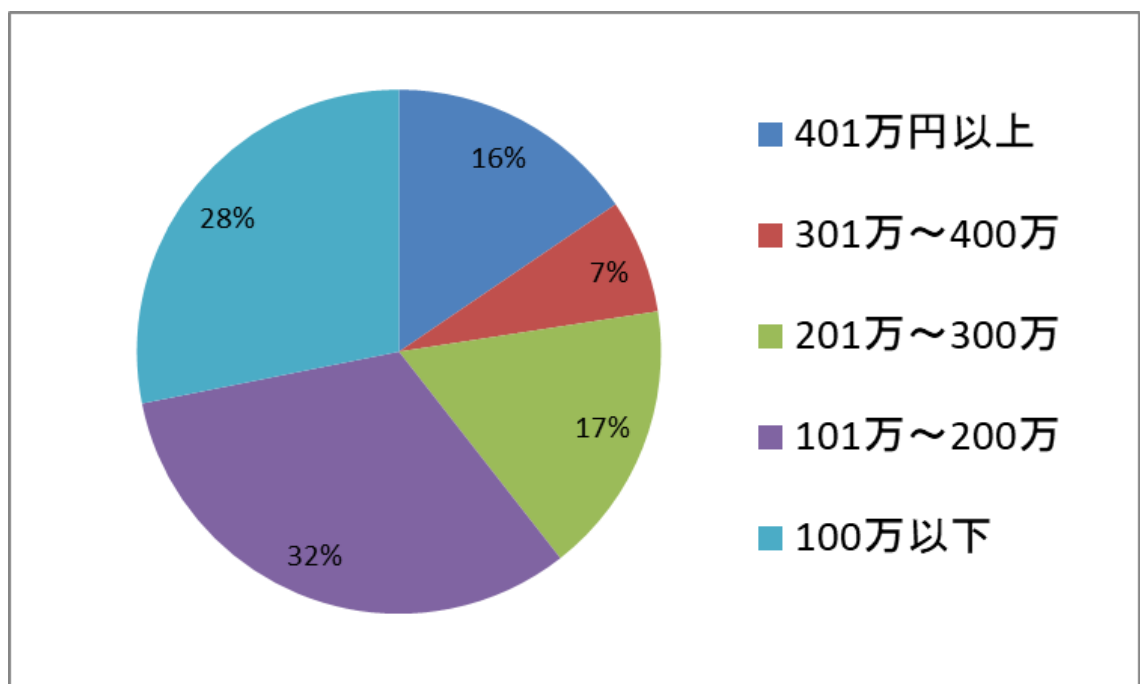
・国の持続化給付金の満額である200万円以上の減少をしている施設が全体の4割を占め、政府支援のみでは1か月分にも満たないことがわかる

### ③2020年5月の前年同月比売上



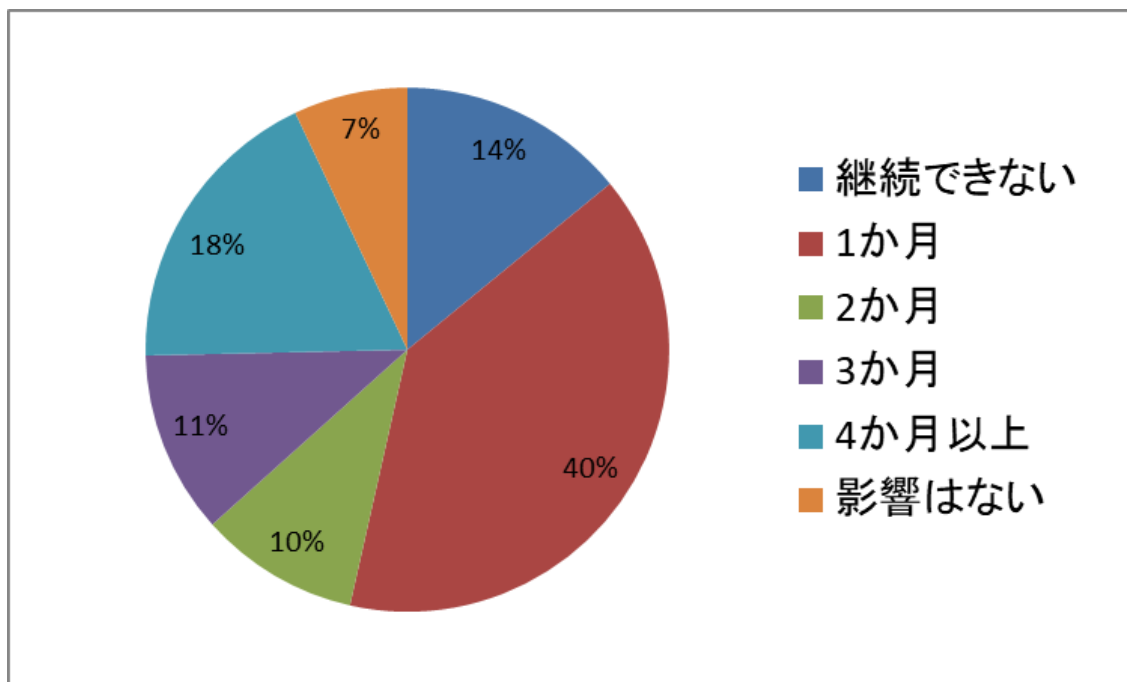
- ・緊急事態宣言の延長などもあり、引き続き各施設の経営状況は厳しい。
- ・前年同月比で50%以上減となる施設が、引き続き7割を占める

## ④2020年5月の前年同月比の 売上減少額



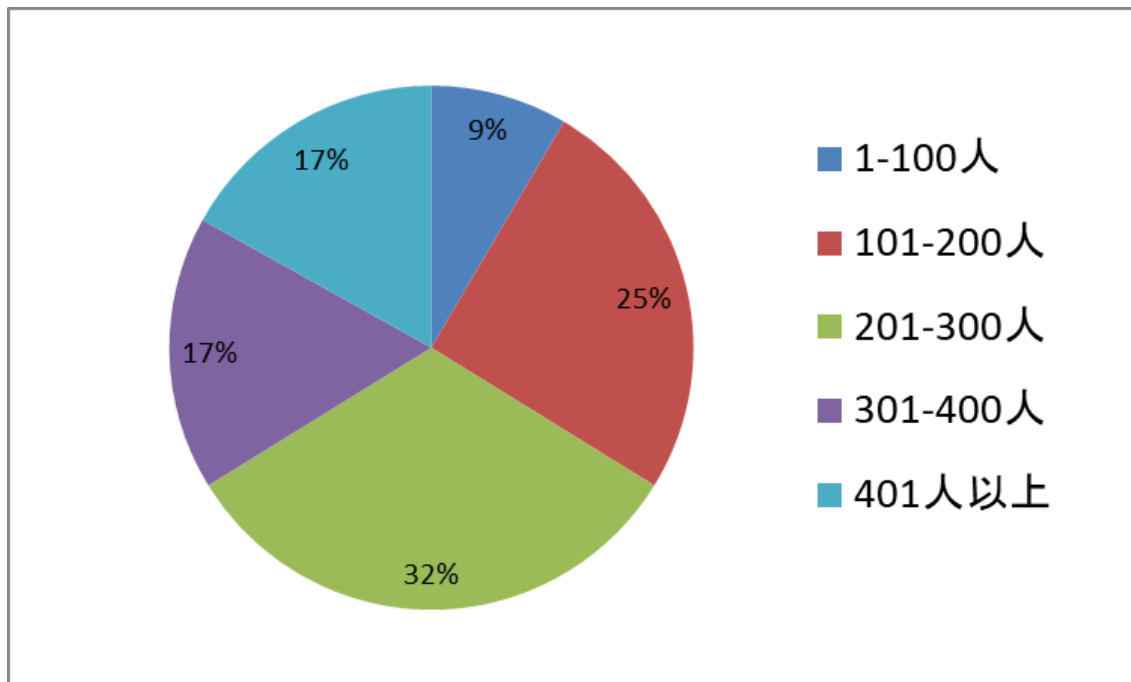
・引き続き、200万円以上の減少をしている施設が全体の4割を占める

## ⑤ 支援のないまま第2波が来た場合 事業を継続できるかどうか



- ・継続ができない、1か月しか持たないという施設で全体の5割を超える
- ・現状の運営が精いっぱい、事業継続の準備までは及んでいないことがわかる
- ・すでに閉鎖した施設もあり、閉鎖を検討している施設の声も連盟には寄せられている
- ・第2波に備え、早急な準備、対策が必要になる

## ⑥施設に通うスクール生の数(外部含む)



- ・フットサル施設は大人だけでなく、子供のスクールやクラブチームの活動拠点として、グラスルーツを支えている
- ・アンケートに回答した施設だけでも、約1万5000人の子供がスクールに通っている
- ・フットサル施設が減少することは、サッカー界全体の大きな損失になる



# 本件に関する問い合わせ

一般社団法人日本フットサル施設連盟

〒105-0004

東京都港区新橋2-20-15 新橋駅前ビル1号館4階

TEL:03-6869-7412

FAX:048-290-1019

HP : <http://www.j-futsal.net/>

mail: [jfn@j-futsal.net](mailto:jfn@j-futsal.net)

